

## 令和3年度 第1回目

# 多久市・平野地区(棚田ボランティア)・草刈り作業を実施

西日本総合コンサルタント株式会社

当社は、佐賀県農山漁村課の呼びかけで、平成30年度から令和元年度の3か年間、小城市江里山地区と「棚田ボランティアに関する協定書」を締結し、年2回(6月、9月)の棚田ボランティア草刈り作業を実施し、活動を通じて地域住民との交流を行ってきました。

また、当社の第2期目の取り組みとして、令和2～4年度の3年間、多久市・平野地区と「棚田ボランティアに関する協定書」を締結し、草刈り作業を行っています。

令和3年6月19日(第3土曜日)に今年第1回目を内野政則常務取締役をはじめ13名が参加して、草刈り作業実施を行いました。



(↑ 平野地区棚田ボランティアに参加の社員と地元関係者)

平野地区は、約190メートル程度の標高に位置し、平野棚田は、農業用水を八幡岳山系の自然流水に依存され、既に5月中旬に田植えを終えた棚田の早苗(作柄:夢しずく)の緑のラインが美しく、参加者からは、「心がいやされる」といった言葉が聞かれました。

平野地区の小園敏則会長(平野棚田米保存協議会)からご挨拶と作業手順について説明が行われた。作業開始にあたっては、内野政則常務の発声で参加社員による現場KY活動を唱和し、無事故での作業のための声を掛け合いました。



(↑ 作業前・地元代表挨拶)

今回、参加社員は地域の方々と一緒に、草刈り機を使って農業用ため池堤防周辺（1箇所）、農道両側の雑草木の草刈り作業と、イノシシ防護柵のカズラ切り等を行いました。

作業終了後、平野地区の小園敏則会長等から御礼の言葉をいただきました。昼食については、新型コロナウイルス感染防止の観点から、弁当配布をうけて各自持ち帰り、おいしくいただきました。今回、平野地区に参加された関係者の皆様、お疲れ様でした。



(↑ 作業前の安全確認と、危険予知 KY 活動)



(↑ 農業用ため池堤防の草刈り)



(↑ 農道草刈り)



(↑ イノシシ防護柵・カズラ切り作業)



(↑ 草刈り作業ボランティア参加の新入社員 4 名 (後列) と女性社員)



(↑ 草刈り作業ボランティア参加社員と地元の方々)